

# 早島町議会だより

平成28年9月1日

第53号

発行 早島町議会  
〒701-0303 岡山県瀬戸郡早島町前湯 360-1  
TEL (086) 482-2608  
FAX (086) 482-4058  
編集 議会広報特別委員会



## CONTENTS

6月定例議会概要 .....	2P
大幅に遅れる防災行政無線工事 .....	3P
キラリと光る自治体へ(議会活動報告) .....	4P
町政の諸問題を問う(一般質問) .....	5～13P
涼を呼ぶ夏祭り .....	14P

# 町制施行120周年事業関連の補正予算を含め 10議案を全会一致で可決

28年度6月議会は、平成28年6月9日から6月16日までの8日間開催されました。

審議事項の主なものは次の通りです。

## 報告事項

- ・平成27年度早島町一般会計及び特別会計繰越明許費繰越計算書（保育園施設整備事業予算1億6453万2000円他12件、総額4億7316万1000円を翌年度に繰り越す）

## 専決処分の承認

- ・地方税法等の上位法の改正施行に伴い、町条例等を改正する必要がある条例を、議会を招集する時間的余裕のないことから、地方自治法の規定により専決処分したものの  
(町税条例の一部改正他3件)



南部新ルート運行予定（日産自動車から貸与された電気自動車）

## 早島町防災行政無線整備工事請負契約の変更

（防災行政無線の工期を平成29年3月31日までの7ヶ月間延長するもの）

## 常任委員会付託案件

### 早島町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業等の利用者負担額に関する条例の一部を改正

（国の幼児教育段階的無償化施策及び、岡山県の第3子以降の保育

料無償化施策等に対応するため、町条例を改正するもの）

## 早島町一般会計補正予算

（減額の主なもの）

- ・ 人事異動に伴う人件費3121万9000円（職員数2名減）

（増額の主なもの）

- ・ 町制施行120周年記念事業関連予算644万6000円
- ・ 非常勤職員（2名）採用に伴う報酬213万1000円
- ・ コミュニティバス試運行関連費用606万円（南部新ルート）
- ・ 百歳体操の器具購入費（400セット）80万8000円
- ・ 保育所業務効率化事業補助金200万円

- ・ 早島町立地適正化計画策定委託料874万8000円
- ・ ふれあいの森公園遊歩道修繕工事費用213万円
- ・ 小学校給食調理場工事管理委託料118万8000円
- ・ 幼稚園空調工事管理委託料57万3000円

・ 社会福祉協議会改修工事管理委託料46万5000円

## 早島町介護保険特別会計（保険事業勘定）補正予算

（増額の主なもの）

- ・ 過年度分返還金539万3000円

## 早島町公共下水道事業特別会計補正予算

（増額の主なもの）

- ・ 水道事業・公共下水道事業経営戦略策定費用324万円



大幅に遅れる防災行政無線整備工事

〔総務厚生常任委員会〕

議案審議の主なもの

◆防災行政無線工事の遅れについて

Q 3カ所の設置場所変更について、理由と、地元の方の要請は何であったか。

A ①久々原の公民館から三軒地の半鐘台への変更は、消防団長の自宅に近いこともあったか、地元の要望が強かった。②矢尾の公民館は、業者より電波の關係で南寄りに、との助言があった。③支援学校については、当初の予定地が病院の敷地内(国有地)であった事が判明し、手続き上、県有地の方が有利と判断し、東側に変更した。

Q 本来なら9月時点で設置完了であるべきものが、3月末まで延期となった。どこがどのように遅れたのか。

A 周波数によって フィルターの工事等が見込まれる可能性も考え3月末までとしている。

Q 延期をしたことによって責任の所在はどこにあるのか。

A 工期の変更については 発注

者及び受注者が協議をして定めるという契約がある。協議の上で工期を変更したと理解していただきたい。

Q 損害の所在は。

A 損害はどちらも発生しない。

Q 設置場所変更は当初から問題になっていたのではないか。

A 当初から問題があったとは認識していない。最終的に地元との協議で位置を決めていく上で変更が生じた。

一般会計補正予算

◆平成28年度一般会計補正予算(第1号)について(総務厚生関係)

Q 保健衛生費の講師等派遣委託料80万円の内容は。

A 120周年関係の講演会の派遣委託料。

Q 老人福祉費の消耗品費80万8千円は何か。

A 今後、地域での百歳体操を進めていく。その百歳体操の重り代400セット購入の予定。

役場、駅周辺の立地適正化計画を  
コンサルタントに委託

〔建設文教常任委員会〕

議案審議の主なもの

◆平成28年度早島町一般会計補正予算(第1号)について

土木費(都市計画費)

Q 計画策定委託料874万8000円について。

A 役場や駅周辺の土地利用について、立地適正化計画を策定するため計上した。

Q 施設整備工事請負費213万円の説明を。

A ふれあいの森公園の遊歩道の80カ所の階段の修繕。

Q 中山団地の公園の維持管理を、今回業者に入札委託するのは。

A 公園に危険な箇所があるので、土木委員と相談をして業者委託することにした。

教育費(小学校費)

Q 報酬15万2000円について。

A 来年中学校で図書の電算化を行う準備のための経費。

Q 委託料188万円について。

A 軒の修繕・教室内の床の張替・部屋を普通教室にするための給湯

室の撤去・食器洗浄室の修繕。教育費(幼稚園費)

Q 委託料57万3000円について。

A 床の残り半分のコーティング(昨年半分)・空調設備の増設。

Q 管理委託が必要か。

A 期間限定と子供の安全確保のため必要。

教育費(社会教育費)

Q 委託料8万円は。

A 町制施行120周年並びにふれあいネットが5周年を迎えるにあたって、講演を行うためのチラシの作成費。

◆平成28年度早島町公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)について

公共下水道事業費(総務管理費)

Q 委託料324万円は。

A 29年度から補助事業としての公共下水道整備は経営戦略の策定が必須要件となったため今回計上した。

in山口県和木町  
キラリと光る  
自治体へ



平成28年5月19日、20日、山口県玖珂郡和木町で行われた、第6回全国コンパクトタウン議会サミットに議員9名で参加しました。

記念講演には山梨学院大学の江藤俊昭教授を講師に迎え、『人口減少時代を迎えた小規模議会の突破力』と題した講演を聴講しました。

江藤教授は議員定数削減や報酬について触れ、多様な住民意思を反映し、質の高い議員をつくっていくために「改善に向けてもっと町民と議論を」等と話されました。各分科会に分かれ、防災、まちづくり、議会改革について活発な議論が行われました。

分科会後、江藤教授から講評をいただき、それぞれの町の課題について再認識し、議会活動への参考とすることができました。

二日目はそれぞれの課題にもとづいた現地視察を行いました。早島町議会は、蜂ヶ峰総合公園の視察ののち、JX日鉱日石エネルギー麻里布製油所を見学しました。



JX日鉱日石エネルギー麻里布製油所内

全国コンパクトタウン議会サミットとは？

全国各地の20㎞以下の「コンパクト」な町が対象。市町村合併をせず、自立の道を選択した町の議員が集まり、コンパクトな町ならではの活性化策を探る情報交換が中心。第6回は12町100名の議会議員らが参加。

April 4 (4月)

- 1 金 早島保育園入園式(議長)
- 3 日 早島さくらまつり
- 7 木 電気自動車出発式
- 10 日 早島チューリップと菜の花祭り
- 11 月 農業委員会
- 11 月 早島小学校入学式
- 12 火 早島中学校入学式
- 13 水 早島幼稚園入園式
- 13 水 広報特別委員会
- 14 木 町制施行120周年記念事業実行委員会
- 20 水 全員協議会
- 20 水 広報特別委員会
- 22 金 広報特別委員会
- 23 土 浅口市市制10周年記念式典(議長)
- 25 月 例月出納検査
- 27 水 監査委員研修
- 28 木 町制施行120周年記念事業実行委員会

May 5 (5月)

- 11 水 農業委員会
- 17 火 県議長会正副委員長研修
- 19 木 コンパクトタウン議会サミット
- 20 金 (山口県和木町) (20日)

June 6 (6月)

- 23 月 例月出納検査
- 24 火 町制施行120周年記念事業実行委員会
- 25 水 議員勉強会(国保について)
- 26 木 県議長会臨時総会(議長)
- 27 金 議会運営委員会
- 28 土 高梁川総合水防演習(議長)
- 28 土 早島小学校運動会
- 30 月 全国町村議会議長会議長・副議長研修(31日)
- 31 火
- 2 木 全員協議会
- 2 木 熊本地震支援募金活動(早島駅)
- 3 金 熊本地震支援募金活動(マルナカ)
- 4 土 早島中学校運動会
- 8 水 農業委員会
- 9 木 6月定例会(16日)
- 11 土 ◆鎌田實介護セミナー
- 16 木 広報特別委員会
- 17 木 農業委員研修会
- 22 水 事務監査(臨時非常勤職員)の管理事務
- 23 木 議員勉強会
- 23 木 行政視察受け入れ打合せ
- 29 水 行政視察受け入れ(愛媛県砥部町)

◆は任意参加の研修会等。  
※記載した活動以外にも議員各自で勉強会や研修会への参加、議員報告会等があります。



佐藤 眞治 議員

**早島町地域防災計画（地震対策編）について問う**

**問** 想定外の被害が起きている  
災害対策を見直す必要がある  
町民や議員の方々から意見を賜り  
災害に強い町づくりを努めていく

**問** 北部は丘陵地で危険度は少ないと記されているが、地震動や発生時刻と風速の組み合わせで想定結果は大きく異なる。

実際に想定外の被害が起きている。見直す必要があるのでは。

**答 副町長** 現在12カ所の土砂災害警戒区域があり、北部に限らずその区域における地震災害の危険度は決して低くはない。町の記している「危険度が低い」という表現については誤解を招くことも懸念されるので、今後見直していく。

**問** 早島町でも南海地震で大きな被害が起きる可能性があり、今では30年以内起こる可能性が70%あると言われている。危機感を強く持つてもらう必要があると思うが、どのような啓蒙・対策を考えているのか。

**答 副町長** 揺れや液状化などによる建物被害は、全壊26棟・死傷

者53名と被害想定している。

防災危機管理に関する取り組みを行っており、起こり得る災害についての正しい理解・事前の備え・災害発生時の行動などについて、町民の皆さんに知っていただくことにより、防災意識の向上に努めていく。

**問** 指定された避難所には物資が早く運ばれるが、自治会の公民館などは対策本部との連絡がとり難く遅れることが心配される。

緊急退避所も状況により避難所になることもある。避難所に物資の備蓄スペースを設けるなど、集中備蓄から分散備蓄に変えるべきと思うが。

**答 副町長** 町では防災計画に基づき食料を約2200食分を集中備蓄している。

集中備蓄は管理は容易だが物理的に各避難所への分配が困難になる状況も考えられ、町においても分散備蓄を検討する必要があると考えている。

まずは小学校・中学校に、保管場所の確保をお願いしていく。

**問** 災害による人的被害・経済被害を減少し、安全安心を確保するためには、日常的減災のための行動に取り組み町民運動の展開が必要である。単なる避難所に避難をするだけの訓練でなく、倒壊した建物からの救出方法の見学・体験など現実に対応した訓練を考えるべきでは。

**答 副町長** 防災訓練は災害時を想定し、実際に体を動かすこと、避難等を経験することにより、冷静で適切な判断・行動ができることを目的に行うもので、町の防災訓練は主に避難訓練や情報伝達訓練を行っている。

防災訓練の内容については自主防災組織連絡協議会で協議し検討している。実践的・現実的な訓練を行う必要があると考えており、倒壊した家屋を想定しての救出訓練も必要だと考えている。実施に向けては課題があるが、クリアしながら検討していく。

**問** 町として防災知識の普及啓発、防災マップ・行動マニュアル等の作成と普及、避難場所・避難路の案内板の設置、隣人等に対する救助意識や相互支援について指

導するとあるが、避難所やその距離・高低差の問題もあり、自主防災組織や消防団の協力を得て再点検・再確認の必要があるのでは。

**答 副町長** どこに避難するかはそれぞれの自治会の判断により決めている。避難所はある程度的人数が収容でき、耐震構造の基準を満たしている施設となっており、避難所の開設時には施設の安全が確認されてから行うことになっている。避難所の点検・再確認は行政だけでなく広く意見をいただき、定期的・継続的に見直す必要がある。

できるだけ広く避難訓練を行って起きた災害に適した避難方法をとっていききたい。町民や議会の方々から意見を聞き災害に対して強い町づくりに努めていきたい。



危機感を持って臨みたい総合防災訓練



浅沼一徳 議員

## 問 公共工事のあり方について問う

### 答 職員の育成に努め公共工事の品質管理に努める

**問** 平成27年度の公共工事の件数及び工事の合計金額はいくらか。

中間検査、竣工検査での手直し件数は何件か。

**答 町長** 工事件数43件で6億175万1000円で、竣工検査時の手直し件数は1件。

**問** 工事件数43件に対し手直し件数1件と少ないが、どこを厳しく検査しているのか。

**答 建設農林課長** 発注した工事の数量、目的、機能が出来ているかなど中心に検査している。

**問** 工事了後にその場所を維持管理する団体、利用する住民から不満を聞くが、工事中前に、事前説明、意見交換等を行っているのか。

**答 町長** 施工箇所に隣接、又は近接する住民へは直接伺い説明をしている。

そのほか交通規制により影響を受ける住民には周知文を配布。広く周知を行う必要があると判断したときは、ホームページや広報紙

により知らせている。

**問** 説明を行っているのに、なぜ住民、地域団体から、不満、クレームが起こるのか。

意見交換、説明不足ではないのか。今後は、特に意見を聞いていただき、住民不在の工事ではなく、住民主体の、無駄のない、みんなが納得する工事を行うべきだ。

**答 町長** その趣旨で役場もやっている。だが地元住民の思いとか合わないところがあるように受け取った。今後そのような事がないよう、最小の経費で最大の効果を生むよう取り組んで行く。

**問** 工事立案から完成までの作業の流れについて伺う。

施工業者に指示する品質管理は誰がどのように行うのか。

**答 建設農林課長** 一つの工事にに対し2名の担当を配置している。最終的には、管理職が責任者でしっかりと精査し検査、決裁している。また問題が起きれば内部で

協議している。

**問** 住民からクレームが寄せられた際の対応について伺う。

公共工事に対し数々の不満、クレームが寄せられているが、4物件について伺う。

1件 国鉾公園では、凹凸箇所が多く、芝が発芽出来ずむき出しになっている箇所が多数ある。また目土に大小、多量の石が混入している。

2件 深砂公園テニスコートで補修後、段差がある。

3件 中央公民館外壁補修跡の対処。

4件 樽島町営住宅で新築なのに不具合が多数生じている。

**答 建設農林課長** 国鉾公園では地元の方々、維持管理する団体の方に非常にご苦労をかけ大変申し訳ない。今後はさらに厳しく工事検査、管理を行う。

**答 生涯学習課長** テニスコートでこのような事があってはならない。すぐに業者と協議し対処する。

**答 生涯学習課長** 中央公民館外壁の補修跡が汚くなっていることは認識している。業者と協議し対処する。

**答 建設農林課長** 施工した業者

に全戸調査するよう指示している。また原因について報告を求めている。現地に入る日程等は、今調整中である。

**問** 今後本町の公共工事のあり方について問う。

工事の設計、施工管理、品質管理のあり方、住民が納得できるよう今後真剣に考え、税金が有効に活用され健全な工事を実施するべきでは。

**答 町長** 職員も真摯にやっている。それでも足りないことがあった。職員の育成に努めていくとともに工事の徹底した品質管理も行う。



建て替えられた町営住宅



眞鍋和崇 議員

**問** 「教育のまち」を言うならば中学校図書館司書、幼稚園の人員再配置を

**答** 司書は次年度検討 幼稚園は支援員を増員する。

**問** 町長は「教育No.1」を掲げ「教育に力をいれる」と明言した。

3月議会では教育No.1の指標を「基本的な知識（中略）授業が分かりやすく楽しいと思う児童・生徒の割合（中略）あるいは読書時間・・・」と答弁した。

**① 学校図書館の司書の配置を**

中学校には長年、学校図書館司書が配置されていたが、今年度廃止された。

読書活動の推進をうたい、読書時間を教育No.1の指標として位置付けるなら、教育的な観点から生徒の読書活動を援助する、専任の司書を配置せよ。

**答 教育長** 来年度検討する。

**要望** 「教育に力を入れる」と言うなら予算削減でなく、必要な人員の確保を。補正予算で急ぎ補充対応せよ。

**② 幼稚園の「残業前提」体制の見直しを**

今年度、講師・支援員あわせ4人の人員削減が行われた。

現在、幼稚園の預かり保育は職員員の超過勤務により運営されている。毎日の残業を前提とした事業を行政が行うのは正常と言えるか。

**答 教育長** 支援員を増やし、職員員の超過勤務を解消する。

**町の防災対策の見直しを求める**

**問** 東日本大震災や熊本地震等の教訓を踏まえると、避難行動や被害状況把握等を役場の援助（公助）頼みにせず「自助」「共助」で、各地域で行われるのが望ましい。

訓練内容の見直しと各自主防災組織の活動状況を把握し、自主防災組織の定期的研修等、切磋琢磨できる機会をつくること。

**答 町長** 訓練内容を自主防災組織の皆様の力を借り、実践的な訓練を検討する。

自主防災組織は大切。（未組織地域の）立ち上げ、強化をしたい。

**問** 防災備蓄について―先日見学したが、分散備蓄を行うにも、全

く足りない。

熊本地震では、防災協定をする企業も被災し、道路も寸断され、自治体職員も災害対応に追われ、被災直後に物資が避難施設に配送されなかった地域もある。

災害時、飲料水や毛布をはじめ、即時必要な最低限の物資は、緊急に避難施設に整備すること。

**答 町長** 各避難所への分散備蓄と、品数も計画的に増やす。

**農地・水路の整備、計画通りの実行を**

**問** 昨年度予算の農振地域の水路整備【調査設計委託料】45万円は「駅南は優良な土地。農地として利用は疑問。地権者に意見を聞く」という（町長の一存）で執行しなかった。地権者との話はいつ、どの様に行ったか。

**答 町長** 7月下旬〜8月中旬に2回説明会を開催する。

**問** 12月議会では「農用地指定を」解除について検討している」と答弁。検討が行われたか。

**答 町長** 農用地の指定解除は非常に厳しい。県と協議を行う。

**問** 指定解除には明確な規定があり、解除の見通しもつかない状況で、水路整備等の先送りは許され

ない。町の計画との整合性は。

**答 町長** 法の規制よって計画。無視するつもりはない。

**問** 総合計画はJR線南部を「農業生産基盤である水田を（中略）用水路の整備を進める」とある。

都市計画マスタープランには同地を「農地保全ゾーン」に位置づけ、優良農地、田園景観の保全に取組む」とある。

水路整備は農家の切実な要求。町長の考えで計画を無視するか。

**答 町長** どういう農業をやるか基本方針もないまま、水路整備をする財力は町にはない。

**要望** ①以前農業委員会へ説明を行った具体的計画にもとづき作業を進めること。②計画策定を待たず壊れている箇所は早急に修繕を行うこと。



崩落箇所も多数ある JR 線南の水路農地の基盤整備が求められる

その他に《防災職員の体制整備》について質問しました。



佐藤 政文 議員

**問** 宇喜多堤市場園内つくばいの排水について

**答** 1か月をめどに業者と検討する

**宇喜多堤市場園にあるつくばいの修繕について**

**問** 宇喜多堤市場園のつくばいは水を抜くために、穴をあけているが、子供たちが土でふさいで、排水がよいようにできなく、雨水等が溜まり、虫が発生しやすい状態にある。

さらに、動かないように固定しているため、掃除に困っている。つくばいの下にも、小石があり石と石の間に枯葉がたまり、掃除に困ると近所の住民が訴えている。また、小石を投げて遊んでいる児童もいるようだ。

景観はいいかもしれないが、掃除が出来ないようなものは、無用の長物でしかない。

せめて掃除などのしやすい環境にすべきではないか。

**答 町長** 宇喜多堤市場園は、平成19年に住民方の憩いの場として景観にも配慮して整備した。つくばいの底に水抜き穴を開



宇喜多堤市場園

けているが、いたずらと思われるが小石や砂で排水できなくなっている。職員で小石を取ろうとしたが構造上できなかったため業者対応したい。

景観要素として、小石は配置している。この公園は、役場が直接管理ではなく、地元の方に管理をお願いして定期的に点検して頂いている。

**答 建設農林課長** トマト銀行西側にも同じような小さな公園があり、そこにもつくばいがある。今業者にお風呂の排水口のようにできないか確認している。

いたずらに関しては、管理をさせていただいている方などに注意をさせていただくようお願いしている。つくばいに関しては、大体1か月でどのようになるか、業者からの返事があると思う。

**町内の危険個所の改修について**

**問** 以前から危険だと思っていた、塩地の公民館から小学校のわきを通って小学校までのかかり急な石の階段があり、手すりもない状態はとても危険である。

早島の名所である、早島公園の花見の時期には多くの人も使う。至急手すりをつけるべきではないか。事故が起きてからでは遅い。

この道は、児童の通学道路にもなる。町内の危険な個所は1か所でも少なくすべきではないか。

**答 町長** 早島小学校西の町道は、地形の特徴から道路の一部が階段になっている。

通学道路になっており多くの児童が日常的に利用している。ガードパイプは設置しているが



早島小学校西の町道

手すりなどの工事はしていない。これまで父兄等から手すりの要望も受けていない。

安心・安全な道づくりというのも一つの行政に課せられた課題だと思う。

また、観光面で不特定多数の人が訪れる階段と考えた場合、あつた方がいいのかなとも考える。関係者の意見も聞きながら、総合的に検討させていただきたい。





松森京子 議員

**問** DV防止対策の考えは

**答** 早めの相談が重要。県や倉敷等と連携する。

**問** 本町は、平成13年に「はやし  
ま男女共同参画計画」を策定し、  
一人一人の人権が尊重され、誰も  
が生きがいを持って暮らしていけ  
る、男女共同参画社会の実現を目  
指した施策を展開してきた。しか  
し平成23年以後の改定が見られな  
いが。

**答 町長** あの時のままで今もま  
だ改定はしていない。

**問** DVやストーカー、つきまとい  
はなかなか表面には出てこな  
い。深刻な被害につながる可能性  
が高い。犯罪被害者が一人で抱え  
込めるのではなく、「DVに関  
する基本計画」を早急に提示して  
いただきたい。

**答 町長** 本町へのDV相談件数  
本町では、DV防止対策をどの  
ように考えているのか。行政の中  
で連携や仕組みづくりはできてい  
るのか。本町と県、警察、支援セ  
ンターとの連携は明確か。本町独  
自での駆け込み寺、いわゆるシェ  
ルターの確保は考えられないか。

は去年0件。過去の数年見て、年  
1件程度相談を受けている。しか  
し、県や警察に寄せられた件数は  
平成26年度2365件、次年度2  
595件と1割増加している。こ  
れは大きな社会問題であると考え  
ている。

本町では早急な対応が求められ  
ており、DV防止対策は必要であ  
る。本年度策定予定の男女共同  
参画に関する基本計画の中に、D  
Vに関する基本計画を章立てし位  
置付けたい。今年度から※ウィズ  
アップくらしきと連携体制がとれ  
るようになった。

シェルターの件は総合的に判断  
し広域連携で対応していく。

**食品ロス削減に向けての取組は**

**問** 農林水産省によると、日本で  
は食品廃棄物が年間2797万ト  
ン。このうちまだ食べられるのに  
捨てられる食品が約642万トン  
発生し、日本人1人あたりが毎日  
茶碗1杯のご飯を捨てている計算

になる。国連が貧しい国に送る食  
物の2倍にあたる。今ではもった  
いない食品ロスを減らす取り組み  
も増えているが、本町において、  
食品ロス削減に向けての取組は。

**答 町長** 早島町一般廃棄物処  
理基本計画を策定し、購入抑制・  
発生抑制・再使用・再生利用の実  
践に取り組んでいる。中でも購入  
抑制と発生抑制の取組が食品ロス  
の抑制に有効と考え、小中学校で  
も授業に取り組んでいる。一般家  
庭においても在庫管理、計画的に  
食べ切り、使い切り、期限表示の  
理解といった啓発を進めていき  
たい。

**ふれあいの森公園、使いやす  
いトイレにできないか**

**問** ふれあいの森公園は、空気が  
きれいで心が和むと、高齢の方、  
障害のある方など、多くの人に大  
変喜ばれている。しかしキャンプ  
場のトイレが和式で段差があり使  
用困難。管理棟までは時間がかか  
り、失敗したことがあるとの声を  
聴く。

洋式トイレにして段差をスロー  
プにできないか。また遊具の周り  
の生い茂った樹木を見通し良くす  
るために剪定はできないか。

**答 町長** 現在の和式トイレを洋  
式便器に取り換えることは可能で  
ある。しかし車いす対応には、建  
物自体を建て替えなければなら  
ない。そのためには高額な費用が掛  
かる。管理棟の車いす対応のトイ  
レを利用していただきたい。剪定  
については公園利用に支障をきた  
すようであれば適正な管理に努め  
たい。



高齢者、障がい者が使用困難なキャンプ場のトイレ

※ウィズアップくらしき（倉敷市  
男女共同参画推進センター）  
の活動拠点。  
男女共同参画社会を実現するため



平岡 守 議員

**問** 早島公園の桜を新規に植樹してはどうか

**答** 要望に応じて考えよう

**問** 早島公園は早島の皆様の安らぎの公園であり、また最楽園では地域の方々がグランドゴルフ等を楽しんでる。桜の開花時期には町外からも多くの来園がある。また現在「さくらまつり」も公園で実施しており、早島公園は歴史もあり「さくらの名所」である事から唯一といっても良い観光資源であると思う。

今年の花見時期には、「さくらまつり」もあり小学校のグラウンド、町役場駐車場も満車状況となった。

当公園の桜は約200本、その中老木も目立っており、それらの対策と共に新しく植樹の必要性も感じている。

苗木では、大きくなるのに余りにも年数が必要となる事から出来れば5年程度のもの植樹が適当と感じている。

早島公園は、さほど広い公園ではないので場所等の制約もあるが、この「さくらの名所」少し手を加え、更に知名度を上げてはどうか。

**答 町長** その様な要望、ご意見を受けながら全体計画の中で考えていく。

**早島公園のトイレの位置について**

**問** 公園の改修以前は、下側の駐車場にトイレがあった。現在は階段を上がったグラウンドの1か所であるが、お年寄りが利用しやすい駐車場の近くへの設置はどうか。

「さくらまつり」では上側の駐車

場に仮設トイレを設置して頂き、利用しやすく非常に好評であった。今後の考えはどうか。

**児童館のグラウンドのぬかみについて**

**問** 児童館は一部建て替えが行なわれ以前より更に環境が良くなっている。ただグラウンドについては雨が降ると、とんでもないぬかみとなっている。子供、また父兄の方々の出入りに大変困ると聞いている。雨天時、運動靴等では埋まった状態となり、長靴でないとお入りが困難と聞いている。

先般、担当課にはその旨を伝え、梅雨入りまでに改善、対策をお願いできればと思っていたが、とうとう梅雨入りをしてしまった。この後、早急に改善をお願いしたい。

**答 町長** グラウンドを整地し水の流れを良くし、塩化マグネシウムで土質安定を行う等、状況を見ながら改善策について対応を今、検討している。

**問** 26年度に遊技場の建て替えをして27年度に供用開始になった



雨が降るとぬかるむ児童館のグラウンド

が、その時点、またその後について皆様方から、ぬかるんで困るという声があったと思うが対応についてどうしていたのか。

**答 健康福祉課長** 完成した折は、荒い土の真砂土を入れており、その後その土を全面的に、目の細かい土にして安心して遊べるグラウンド整備を行った経緯がある。目が細かいことでぬかるむことが考えられた。

このグラウンドは放課後児童クラブの職員が整備していたため水がスムーズに流れるような形態が保てなかったと想像する。当面の間、専門家に任せる。

**問** グラウンドの土が流れ出るのを止めて、例えば「通路の確保」等での施策を是非行っていたかどうか。

**答 町長** 対応させていただく。



早島公園



古田 敬司 議員

**問** 地域内に地域防災担当委員を配置できないか

**答** 行政が強制するのは難しい。自主防災会議の場で提案する

**問** 自主防災組織の活動は自助、共助、公助を基本的に地域の実情に応じて、平常時または災害時に効果的な防災活動を行うと明記されている。

**答** 組織の大半は自治会役員が兼務し、自治会役員交代に合わせて防災役員も新たに任命されている。町内21団体の日頃の活動実態を当局はどのように把握しているのか。

**答** 町長 それぞれ地区での活動は一律ではない。

**問** 町と自主防災組織の会議を年3回開催し、情報交換を含め、地域組織の活動について応援・支援を行っている。

**答** 防災計画にうたわれている平常時の活動10項目、非常時の活動6項目の内容をチェックリスト等で点検し、地域が自分たちの活動、運営実態を把握して弱点はなにか、何をなすべきかを見極め、当局としての役割を再認識すべきではないか。

また地域において活動のキーマンとして地域防災担当委員を配置したらどうか。

**答** 町長 地域防災担当を地区内に置くことは活性化につながる。

しかし、行政が強制することは難しく、自主防災会議の場で提案する。

**高梁川連携中枢都市圏の形成について**

**問** これまでも倉敷市とは農林業、水道、ごみ処理、し尿処理、消防、防犯などさまざまな分野で自治体連携を行っているが、改めて平成27年度以降、現在までの取り組みについて伺う。

**答** 町長 ビジョンに掲げた48の事業を倉敷市が中心となり平成27年度から本格的に実施し、既存の連携事業の見直しや15の事業を追加するなど、2年目となる28年度は63の事業のうち当町と関連ある52の事業について連携し、取り組んでいる。

高梁川流域圏成長戦略ビジョン

は平成27年度から5ヶ年となっており、連携事業の成果については昨年度からの本格実施と開始後間もないため、成果が表れにくいものも多くある。

**問** この事業の推進状況を定期的に議会に報告していただきたい。

**答** 町長 情報は提供していく。

**問** 事業の中に観光振興策があるが、今後、早島町の観光協会を充実・発展させて他の市町村との連携を図ることで早島の魅力をさらに向上させることが可能と思うがいかがか。

**答** まちづくり企画課長 現在、観光協会は単独で活動できる状況にない。

今後の取り組み方針として、それぞれの役員が持っている知識と方法で一丸となり、早島のPRなどの実績作りが第一と考える。

**ふれあいの森公園整備について**

**問** 今年4月からキャンプ場の火気使用が解禁となり、ますます利用が増えるものと思われる。

一方、遊歩道の階段は凹凸が激しく、常に足元に注意する必要がある。

ある。今年度県の補助金が交付され、735段ある階段のうち80段補修することのだが、改めて中長期的な予算を組み、町民憩いの場として整備をするようお願いする。

**答** 町長 昨年度に比べ、キャンプ施設利用者は4、5倍に増えている。遊歩道の修繕については来年度以降も補助金を活用して計画的に整備し、安全、安心で快適に利用していただけるよう維持管理に努めていく。



ふれあいの森公園 階段の一部



福田 健 議員

**問** JR早島駅、乗降客3000人、達成のメドは

**答** いつの時点になるか推測はできない

**早島町地域防災計画について**

**問** 毎年見直すと言われて、「早島町地域防災計画」今年度は何を見直すのか。

**答 副町長** 飲料水・食料等の家庭内備蓄量を1週間程度に増やすこと。

災害種別ごとに、避難所・避難場所の指定を見直すこと。

土砂災害警戒区域における、避難場所・避難経路・避難訓練の実施に関する事項。

防災行政無線の整備に伴う諸事項。

**問** 昨年12月議会において、副議長より議会の総意として提示した防災計画の見直し事項、その後どのように検討したのか。

**答 副町長** 防災会議のメンバーについては、改めて組織的に議論する。

**問** 具体的にお答えいただけないので、確認していきたい。  
自主防災組織ができていない7

か所はどこなのか、また、未だ、できない原因はどこにあるのか。

**答 総務課長** 下野・大池・無津・久々原・下前湯等である。

自主防災組織ができない原因についての明確な答えは難しいが、組織が小さいことや、リーダーの不在等、人材に係ることがあると思う。

**問** 議会が行った自治会訪問の際も、現状の防災訓練に対する懸念の声が多くあった。

個別情報伝達、安否・火元の確認や要援護者に対する対応等は、平素の徹底した訓練なくして、非常時対応は難しい。昼夜間を想定した訓練等、防災訓練の見直しを求めたが、どうなっているのか。

**答 副町長** 実際に夜間に訓練するのは非常に危険である。昼間に夜間を想定した訓練を呼びかける。

**問** 要援護者の整理状況及び個別計画、避難訓練はどうなっているのか。

**答** 27年度の避難行動要支援者1670名にアンケート、949名の回答があり、名簿の事前提供同意者は313名。

要援護者への個別支援計画はできていないが、作成できるよう努力する。

**問** 昨年12月に議会提案をして半年を経過したが、その間の町当局の取組は不十分と思うが。

**答 町長** 12月議会での提案は町当局として真摯に受け止め、早急にしなければならない課題と認識している。

**早島町定住促進マスタープランについて**

**問** 1日当たりの乗降客3000人を達成することが現バリアフリー法での鉄道駅のバリアフリー化の基本的条件となっている。早島駅の達成見込みは。

**答 町長** 速報値では27年度2256人となっているが、3000人の目標達成は実際のところなかなか難しい。諸条件を勘案しても、短期的に実現することは難しい。いつの時点で行えるのか推測もできない。

**問** 私は3000人の達成は期待値ではあるが、それを待っていた

のでは、早島駅のバリアフリー化は何時まで経っても見通しが立たないと思う。

先人達は、下水道を整備し、ゆびの舎を建て、その償還に努力をしてこられた。多くの方々がバリアフリー化を要望されている。

早島町の将来負担比率（財政健全化指標）は26年度には22%まで下がっていることを勘案すると、借金をしてでも、早い時期にバリアフリー化を実現したらどうかと考える。そのためには先ず駅舎の設計が必要。地方創生計画のなかで、国に対し必要経費の補助申請をしてもらいたい。

**答 町長** 今、早島町は駅舎の設計よりも、役場及び駅周辺の新居住地域を設定し、どんなまちをつくっていくのか、その基本計画をつくるのが一番と考える。

**要望** 同時並行的に進められた



一般質問



防災メディアとしての高い可能性を持つ SNS

**災害時の情報伝達手段は?**

**問** 3月議会でSNS(ソーシャルネットワークングサービス)の防災情報伝達メディアとしての利用をどのように考えているのかという質問をした際、当時の三宅副町長が28年度からフェイスブック(SNSのひとつ)の運用を始めた。またスマホのアプリ利用も検討する。との答弁だったが、その後の進捗状況は。

**答 副町長** 3月にウェブサイトをリニューアルしたことに伴い、スマホ用アプリ『はやしまナ



佐藤 智広 議員

**問 SNSを使った防災情報伝達 独自の防災ソーシャルネットを**

**答 防災ツールとしての可能性を 探って内部で検討する**

ビ』を導入。このサービスを活用して、防災時の情報等を配信していきたい。

**問** 以前、自主防災連絡協議会の会議で「SNS利用による防災訓練」を提案したが、まったく進展がない。この度の熊本地震では、発生直後に電話回線が混線し、つながりにくくなった。一方、SNSが使うインターネット回線は目立った障害はなく、通信はほぼ可能だったとのことだった。

ある家族はLINE(ライン・SNSのひとつ)で安否報告を一齐に求め、即座に無事を確認していた。また熊本市内の高校では、担任教諭が生徒へ一齐にLINEで生徒の安否を確認したという報告もある。

こうした状況を鑑み、また自主防災組織連絡協議会でも議論されたように実践的な訓練としてSNSを使っている安否確認や映像による被害状況報告など実施してはどうか。既存のSNSを使

えばコストがかかるわけでもなく、早島町防災ソーシャルネットを作るだけで実現できるはずだ。

**答 副町長** 試しにやってみるといっても一つの良い方法かもしれない。前向きに考えていく。

**問** せめて避難所となるコミュニティ施設にフリーWiFiの設置を要望する。これは災害時の大きな情報インフラになると思う。

**答 町長** 防災ツールとしての可能性を探って内部で検討してみる。

**防犯灯のLED化を!!**

**問** 現在、防犯灯の管理は幹線道は町で、それ以外は各自治会で管理することになっているが、地域により幹線道でも自治会管理であったり、またその逆もあり、さびわけが明確でないようだ。明文化するつもりはないのか。

**答 町長** 防犯灯は個々の事情により厳格に定めた基準はないが、道路事情の変化や、通過交通の増加により幹線道化したようなところもあるが、従来どおりの方針で運用していきたい。

**問** 防犯灯の電気代は1灯当たり約300円(月)だ。地域により差はあるが、防犯灯の多い自治会では活動推進交付金の80%が



明るい上に電気代は60%。球を替えるコストもほぼゼロ

電気代に消えるというところもある。ところがこれをLEDにすると電気代が約60%に減り、本来の自治会活動費として使うことができる。

現在、新たに防犯灯を設置、或いは取り替える場合、LEDにしているが、すべてをLED化するには途方もない時間がかかる。またその費用は、1灯あたり約3万5000円。うち半額が自治会の負担。電灯自体は1万7000円程度と聞いている。後は工事費と手数料だ。大量に発注すれば単価も下がる。また電気代に加え、球を換えるコストも削減できる。LED化の考えはないのか。

**答 町長** 防犯灯のLED化は自分も考えているが、それをすべて単年で実施するのは負担が大きいが、補助等の検討をしながら、何年かですすめていきたい。

# 夏祭り



## 地域の手づくりコミュニティイベント

打ち水で涼しくなった路地に子どもたちの笑い声と風鈴の音が響く。今日は待ちにまった『夏祭り』だ。

長津・畑岡自治会では毎年7月の第3日曜日に『長津天神祭り』が開催される。

地元の鎮守でもある長津天満宮も60数年前には夏祭りが行われていたようだ。しかしいつの頃からそれも止み、再開したのは数10年が経った



ニュー早島納涼夏祭り

今から約30年前。消防団とそのOBが中心となり、天神祭

浴衣姿のおしゃまさん  
カラカラ下駄音どこへ行く  
今日はお祭りとうさまと  
花火を買いにまいります



奉賛会を設立し、祭りを再開したのがきっかけ。今ではすっかり自治会の夏の恒例行事として定着。子ども会、老人会、消防団他のオール長津・畑岡による、手づくり一大イベントだ。



塩津夏まつり名物!? 消防団の焼き鳥

夏休みの前後の時期には、自治会や町内会の『夏祭り』がいたるところで開催される。たこ焼き、焼きそば、焼き鳥にかき氷、金魚すくいやヨーヨー釣り。舞台では踊りにカラオケ、パフォーマンス。それぞれに趣向を凝らしたイベントは、夏を彩る恒例の地域コミュニティ活動になっている。

## ◆編集後記◆

断続的に続く地震。またいつ来るかわからない南海トラフ地震への不安。早島町の防災行政無線が一日も早く設置されることを願ってやみません。

さて、私たち町議会は、熊本地震に際して6月2・3日の両日、早島駅前とマルナカ早島店で募金活動を行いました。皆様の温かいご協力により、総額20万2301円を熊本県町村議会議長会に送金することができましたことをご報告させていただきます。

ご協力いただきました皆様にご心よりお礼申し上げます。

尚今月号を持ちまして、広報委員は交替となります。

2年間温かいご支援を頂きましてありがとうございます。今後ともよろしくお願い致します。

### 議会広報特別委員会

- 委員長 松森 京子
- 副委員長 佐藤 智広
- 委員 福田 健
- 真鍋 和崇
- 佐藤 眞治